

数学 (Ⅲ) 九州大学 経済 (経済工)、理、工、農、医 (保健一看護を除く全学科) 歯、薬、芸術工

<全体分析>

試験時間	150 分	解答問題数	5 題
------	-------	-------	-----

解答形式

全問記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・**増加**)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・**難化**)

出題の特徴や昨年との変更点

数学Ⅲからの出題が非常に多く、昨年以上に難度の高い論証問題が多く出題された。

その他トピックス

今年も確率が出題されなかった。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[1]	複素数平面	数学Ⅲ	相反方程式の解, 複素数平面における三角形の形状	やや難
[2]	数列の極限	数学B・Ⅲ	絶対値付き数列漸化式とその数列の収束発散 初項の値の範囲に応じた考察	難
[3]	平面ベクトル・整数	数学B, A	2つの一次独立なベクトルに関する全称命題および整数に関する論述	難
[4]	微分法	数学Ⅲ	関数方程式においての微分可能に関する論述	難
[5]	微積分総合	数学Ⅲ	パラメータで表される曲線の接線と直線 $y = x$ で囲まれた図形の面積	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

標準的な問題を中心にしっかりと演習を積み重ね、計算力をしっかり高めるだけでなく、さらに、ややレベルの高い発展問題にもチャレンジし、論証問題や融合問題などいろいろな出題に対応できる力を養っておきたい。